



朱塗四方盆 橋口宗栄作

藪内流の塗師である橋口宗栄作の朱塗りの四方盆になります。茶入れ盆などにも。

紙箱 縦横約18cm 高さ約1.5cm
¥30,000(税込)



青漆爪紅四方菓子盆 橋口宗栄作

橋口宗栄作の青漆爪紅の四方盆になります。季節を問わない使い勝手の良い菓子盆になります。

紙箱 直径約22.5cm 高さ約3cm
¥30,000(税込)



銀覆輪青海盆 尚涛斎作

塗師の尚涛斎作の銀覆輪青海盆になります。木目の美しい干菓子盆になります。

共箱 直径約24cm 高さ約2cm
¥20,000(税込)



重陽盆 猗々斎在判 橋口宗栄作

藪内流の塗師である橋口宗栄作の重陽盆で藪内流12代猗々斎宗匠の在判の菓子盆になっております。重陽の節句は菊の節句といわれる邪気を避け、寒さに向かったの無病息災を祈る日になります。

共箱 直径約24cm 高さ約4cm
¥40,000(税込)



黒塗一文字盆 12客

黒の漆塗りの一文字盆になります。横から見た様が漢字の一の様に見えるのでその様に呼ばれます。木地目がうっすらみえる塗りで少しずつサイズが差異しています。

箱無 直径約17cm 高さ約2cm
¥25,000(税込)



千の字盆 5客 甫斎作

塗師の山下甫斎作の藪内好み千の字盆になります。千の字盆は黒の一文字丸盆の裏に千の字と雁判を施したものが利休から剣仲に送られたものが本歌と言われています。

紙箱 直径約16.5cm 高さ約2cm
¥60,000(税込)



呉須赤絵写和之字鉢 美陶園作 猗々斎箱

呉須赤絵写しの和文字鉢で美陶園造となっております。美陶園は加賀山代(石川県)の窯元です。藪内流12代猗々斎宗匠の箱。菓子器や懐石の預け鉢にお使いください。

共箱 直径約16cm 高さ約7cm
¥30,000(税込)



金彩笹絵五七盆 村田耕閑作

藪内流の鋳物師であった村田耕閑作の金彩笹絵五七盆になります。藪内流11代透月斎宗匠の在判です。表面に少し曇りあり。

箱無 縦約22.5cm横約31.5cm 高さ約2.5cm
¥38,000(税込)



臙銀鍍金青海盆 村田耕閑作

藪内流の鋳物師であった村田耕閑作の臙銀鍍金青海盆になります。村田耕閑は透月斎宗匠時代を以て家系が断絶しています。

共箱 直径約23.5cm 高さ約2cm
¥40,000(税込)



籠地袋形菓子器 飛来一閑作 透月斎好み

塗師の飛来一閑作の籠地袋形菓子器になります。金平糖などの転がるお菓子などを入れる菓子器で透月斎宗匠の好みとなっております。

共箱 直径約15cm 高さ約12cm
¥65,000(税込)



松花堂好み四方盆 透月斎在判・箱

松花堂好みの四方菓子盆で藪内流11代透月斎宗匠が裏に在判をされています。松花堂、松花堂昭乗は書道、絵画、茶道に堪能で、特に能書家として高名と様々な文化に精通していた大変多芸な人物でした。

共箱 縦横約23cm 高さ約3cm
¥80,000(税込)



粉目溜塗縁高 春海好み 休々斎箱

粉目の溜塗縁高で蓋裏に江戸後期の画家である上田耕冲筆の菊の絵が描かれています。大阪の道具商である春海藤次郎の母の祝いに藪内流10代休々斎宗匠が好んだ菓子器になります。

共箱 縦横約19cm 高さ約27cm
¥88,000(税込)



休々斎好 洗朱引盃 10客 宗栄作 透月斎箱

藪内流10代休々斎宗匠好みの洗朱引盃の10客組で橋口宗栄の塗りとなっております。洗朱（あらいしゅ）とはオレンジ色の顔料を混ぜた朱色で、橙色に近い明るい発色が特徴です。藪内形の酒盃でお酒もよく入ります。透月斎宗匠の箱。

共箱 直径約9.5cm 高さ約3cm
¥68,000(税込)



藪内流好 盃台 橋口宗栄作

藪内好み形の盃台で橋口宗栄の作となっております。藪内好の朱盃は形状が独特なので高台が利休形より大きく、利休形の盃台では乗せることができません。

共箱 直径約13cm 高さ約5cm
¥30,000(税込)



祥瑞螺子徳利 吉兆好 須田青華作

祥瑞写しの螺子徳利で料亭の吉兆好み、九谷の須田青華の作となっております。螺子に花鳥の意匠が施された可愛い徳利です。口元に金継あり。

共箱 直径約8cm 高さ約15.5cm
¥35,000(税込)



姥口平爛鍋 五郎左衛門作 大西清右衛門箱

姥口の平爛鍋で釜師の五郎左衛門、大西定林（享保年）の作となっております。胴の扇面山水の意匠や 蓋の摘みの赤サンゴなど手の込んだ銚子になります。14代大西清右衛門浄中の極め箱。

識箱 縦約10cm横約14 高さ約11cm
¥45,000(税込)



太鼓胴銚子 休々斎好 永楽妙全作

藪内流10代休々斎宗匠好みの永楽善五郎妙全作の太鼓胴銚子になります。太鼓胴の形の銚子は元より藪内流の好みの銚子でしたがそれを休々斎宗匠が新たに14代永楽妙全に焼かせたものになります。

共箱 縦約11cm横約15cm 高さ約16cm
¥68,000(税込)



巴太鼓向付 10客

巴太鼓向付になります。お祭りの時期などにもお使いいただけます。10客組。

木箱 縦約11cm横約18cm 高さ約3.5cm
¥80,000(税込)



柳橋絵鉢 東岳作

橋柳画の鉢で京焼の東岳の作となっております。菓子鉢や炊き合わせなど様々な場面でお使いいただけます。桃山柳橋屏風図は藪内流では流儀扇にも使われる大事な意匠です。

紙箱 直径約16.5cm 高さ約10cm
¥20,000(税込)



吾唯知足焼印木地四方菓子盆 5客

菓子器裏面に吾唯知足（われただたるをしる）の焼き印が押された木地四方菓子盆になります。燕庵の焼き印も押されています。

紙箱 縦横約18cm 高さ約0.5cm
¥25,000(税込)



金彩矢来紋ギヤマン蓋付向付 5客

金彩矢来紋ギヤマン向付の5客組となっております。カットの美しいギヤマンの蓋物で「矢来」は竹を交差して作られた囲いを表す伝統的な文様で、外敵を防ぐ意味から「魔除け」の意味があるとされています。ガラスのカットの技法でもあります。

共箱 直径約11.5cm 高さ約7cm
¥120,000(税込)



青漆角切折敷 五客 竹猗好 遠坂塗

藪内流8代真々斎竹猗宗匠の好みの青漆爪紅角切折敷になります。古くは藪内流の塗師であった遠坂宗仙の作。

共箱 縦約32cm 横約33cm 高さ約2cm
¥75,000(税込)



藪内流天目台・茶碗台 乾老舗謹製

藪内流の天目台・茶碗台の一双になります。茶碗台に位置するお道具のある流派は少ないそうです。乾老舗謹製のものです。

共箱 天目台 直径約15.5cm 高さ約9.5cm
茶碗台 直径約17cm 高さ約3cm
¥38,000(税込)



木地曲水次

木地曲の水次になります。

紙箱 縦約16.5cm横約26.5cm 高さ約14cm
¥20,000(税込)



藪内好二重口炭斗

藪内流好みの形の二重口炭斗になります。名前の通り口元が二重になっており四つの乳足（ちあし）がついた形になります。

共箱 直径約24.5cm 高さ約12cm
¥60,000(税込)



色糸組釜敷 猗々斎箱

藪内流の門下で糸物問屋であった寺村唯庵好みの色糸組釜敷になります。地味な色みの多い炭道具の中で彩を与えてくれます。藪内流12代猗々斎宗匠の若宗匠時代の紹光の箱書き。

共箱 直径約14.5cm 高さ約1cm
¥40,000(税込)



朝日焼灰器 透月斎箱

朝日焼の丸灰器で藪内流11代透月斎宗匠の箱となっております。透月斎宗匠は廃窯した朝日焼の再興に尽力しました。

共箱 直径約6.5cm 高さ約5cm
¥30,000(税込)



藪内好指炭斗 松村長以作

藪内流の指物師であった松村長以作の藪内好形指炭斗になります。通常の水屋で見る指炭斗より持ち手が細く長くなり、本体部の高さが低くなっています。

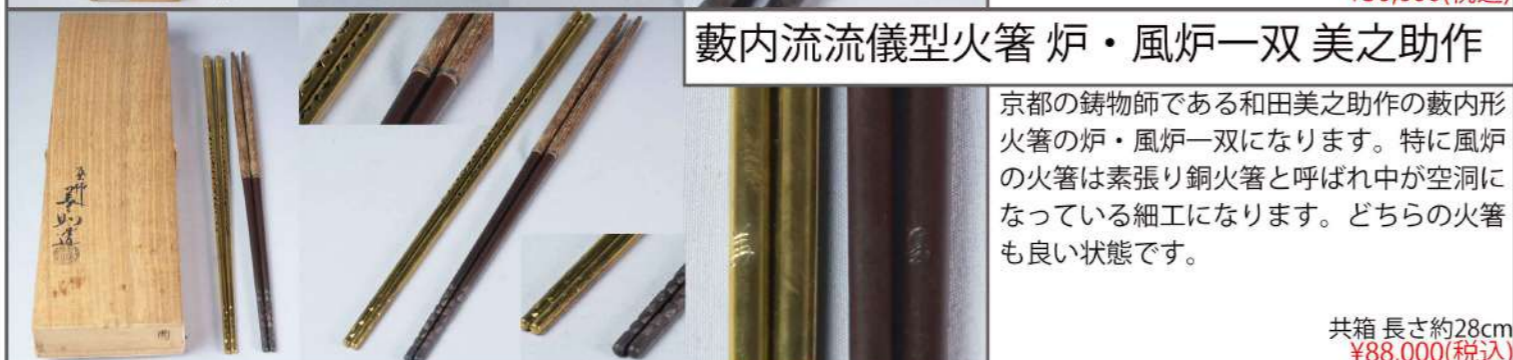
共箱 縦横約25cm 高さ約28cm
¥60,000(税込)



肥後象嵌熊本城瓦釘火箸

肥後象嵌の施された熊本城古材の瓦釘火箸になります。肥後象嵌とは、熊本の伝統工芸品です。始まりは約400年前、藩主に仕えていた鉄砲師が銃身や刀の鐔に象嵌を施したことが始まりといわれています。

共箱 長さ約26cm
¥30,000(税込)



藪内流流儀型火箸 炉・風炉一双 美之助作

京都の鋳物師である和田美之助作の藪内流火箸の炉・風炉一双になります。特に風炉の火箸は素張り銅火箸と呼ばれ中が空洞になっている細工になります。どちらの火箸も良い状態です。

共箱 長さ約28cm
¥88,000(税込)



茶の実頭火箸 乾老舗製

藪内流好みの茶の実頭飾り火箸になります。乾老舗の謹製です。

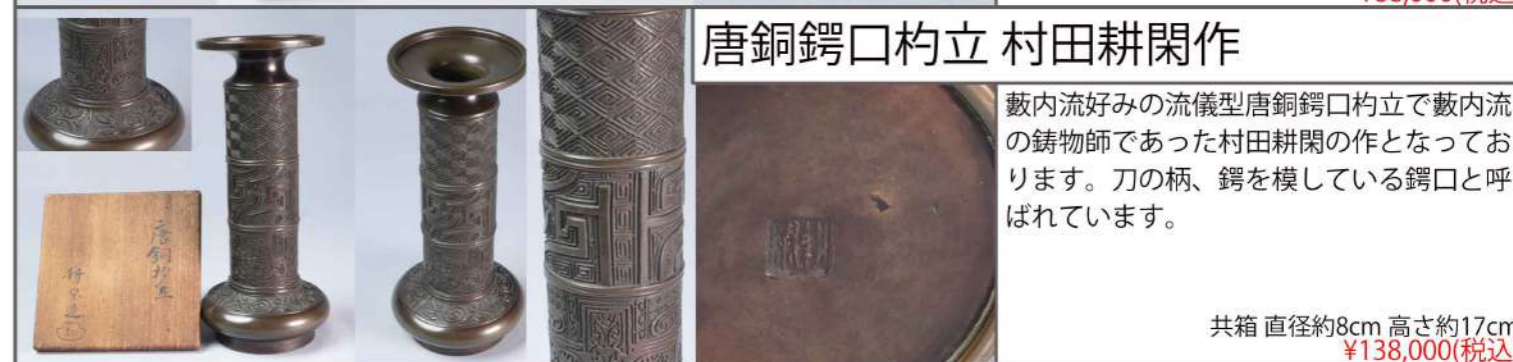
共箱 長さ約28.5cm
¥60,000(税込)



茶の実頭火箸 村田耕閑作 猗々斎箱

藪内流好みの茶の実頭飾り火箸で鋳物師の村田耕閑の作になっております。藪内流12代の猗々斎宗匠の若宗匠時代の紹光、竹風の箱で「家伝のうつし」と記されています。

共箱 長さ約28.5cm
¥88,000(税込)



唐銅鍔口杓立 村田耕閑作

藪内流好みの流儀型唐銅鍔口杓立で藪内流の鋳物師であった村田耕閑の作となっております。刀の柄、鍔を模している鍔口と呼ばれています。

共箱 直径約8cm 高さ約17cm
¥138,000(税込)



藪内流流儀型花水次

藪内流の流儀型花水次になります。肩や注ぎ口が丸くなっているのが特徴です。作者不明。

箱無 縦約12cm横約17.5cm 高さ約6.5cm
¥40,000(税込)



青漆爪紅曲建水 橋口宗栄作

藪内流の塗師である橋口宗栄作の青漆爪紅曲建水になります。

共箱 直径約15cm 高さ約8.5cm
¥35,000(税込)



青漆爪紅桶建水 橋口宗栄作

藪内流の塗師である橋口宗栄作の青漆爪紅桶建水になります。

紙箱 直径約14cm 高さ約10cm
¥35,000(税込)

時代松の木合利形煙草盆



時代の松の木合利形煙草盆になります。行李蓋（こうりふた）煙草盆ともいわれ形が柳行李の蓋に似ていることからそう呼ばれます。侘びの煙草盆の代表格でもあります。

共箱 縦約24.5cm横約30.5 高さ約2cm
¥80,000(税込)

藪内流流儀形炭台 長以作 透月齋箱



藪内流流儀型の炭台になります。利休形とは違う桜の皮の留が各所に入っており大きさも違います。藪内流11代透月齋宗匠が箱に「家伝のうつし」とされています。藪内流の指物師松村長以の作。

共箱 縦約24cm横約27cm 高さ約6cm
¥120,000(税込)

名物若狭盆写 表悦作



塗師の表悦作の名物若狭盆の写しになります。格式あるお盆の写しです。若狭盆の本歌は唐物盆で、古く逸話で若狭の浜に漂着したことからこの名があります。

共箱 縦横約21cm 高さ約3cm
¥30,000(税込)

瓢形額 休々齋歌添え



瓢形額で藪内流10代休々齋宗匠が裏に「谷陰の藻にうきいく玉柏あらみきてより人のこみしや」と歌を添えられています。吊るせるように金具がついており額であったのかお寺の木板であったのか。敷板などにされても面白そうです。

箱無 縦約24cm縦約28cm 高さ約1cm
¥35,000(税込)

金網代風炉先 透月齋在判・箱



金網代の風炉先で藪内流11代透月齋宗匠が在判、箱を書かれています。大変豪華な風炉先です

共箱長さ約94cm 高さ約61cm厚み2cm (1面分)
¥60,000(税込)

黒味銅水次薬缶 村田耕閑作



黒味銅の水次薬缶で藪内流の鋳物師である村田耕閑の作となっております。

共箱 縦約16cm横約21cm 高さ約24cm
¥200,000(税込)